

勞働農民対北朝支那長 有川傳

（有川傳）

傳

六、今司會者ヨリ城ルヘク便使ニト、往來カアリマシタシ私ハ最早前進社ノ問題モ盡フサレタト恩フニ依ルテ、新北朝支那長カ三河島町ノ學校同興ニ開設申ニ於ケル官金ノ差迫ヲ語ソテ見様ト思フ。

三河島町ハ就學兒童、增加ニ伴ニ學校建築、必要ニ迫ラレタノアル然ルニ所ノ内政ハ疲弊シテ居ルニ不拘、所議員共ハ鉄筋コンクリート建ニ議決ニタ、所長ハ木材建築又漸ク建設又カノ大問題ナニニ一意ノ計リス十ノ議決ニタ、幹事会ノ對決議フシタ。我北朝支那長六月一日委員会ニ於テ決議シ極方之ニ応接ス、演説会ヲ開催シタ久松先生、元出ル先生、元三吉自ニ中止サレ演説会ハ行給、演説ニ附シテ農民党カ開會ニテ氣ニ入ラヌカラバ始メカラサセ又ガヨイ届出又時、時任ナテ置キ十カラ事實上集会ノ自由ヲ奪ツタ、テタル又前進社ノ問題ニ就テ是二十四名ノ決議ヲ携ヘテ工場主ニ會ヒニ行クト全中テ巡警官カ待機ヘテ麥畠二郎マシテ殿ラレタ（注意）現ニ殿ラレタ伊藤一藏君が其處ニ居ルノバカラ事實上巡警、警察官ハ資本家ヲ保護スハ為ノ制限、首シクハ未カ當テアル（中止）。

### 「別報」 血迷ヘの官憲の暴虐を暴露し

#### 金町民諸氏の同情に訴ふ

（有川傳）

鷹塚なる所長、諸氏の支持下に三十日後長崎市北島井之字書院前に前進社から開催せられたる開進社年次総評演説會は、前會議官署承下に於て衆士民、中止を命ぜられ特に甚た一時に於ては芳農党公認代表大竹浦秀利、和松五郎、山田政見翁、森高田義彦の如きすらも海上横暴なる「中止！」を以て却され血迷ヘの官憲は遂に「解散！」を宣して土里を以て會場に殺到し、暴合を極度の混乱に陥らしめたる其善等の心情を以詛せり正一也叫び、血迷あら野良鳥の夢望はあらゆる迫害の下に蹂躪せらるたりあります。

殊に解散後は黒狀紙に於ては其の慘虐言語に犯し三名の弁士を金湯裏なる喫煙に引取りシむや豫て賛成せしめたる數十名の尊官は突如襲ひかづけ打つ！蹴る！殴る！あらゆる迫害の限りを盡し暗闇の裏細を頬張り相ぐれり、起したるが故に、其の事古は高田署に檢査又水最後延命義に開身せしる我組合員は地蔵堂駐在所より高田署警署に至る道器に於て殴打されたる事實は沿道民諸氏のまわり目撃せられたる所であります。之が人權深淵にみらずして果して何ぞありますか？

聲明なる所長諸氏！此の事實は一矢手を拂はざるものであります。諸氏はこゝに至つて警察はもはや人民の保護を為すものにあらずしく今や完全に資本家の走狗として生活を守るとする譽無羞階級を玉迫し其の生殺をすら制奪致トする事實は、